

たくさんのご意見・ご提案ありがとうございました



★秘書広報課 ☎251155

◎平成20年度市長への手紙 内訳

	手紙	メール	計
回答したもの	82	79	161
回答希望なし	22	7	29
匿名	26	58	84
その他	1	9	10
計	131	153	284

※その他は、内容がこの事業の主旨に合わないもの等です。

ご意見・ご提案をお寄せいただく方法は次のとおりです。

◎お好きな方法でどうぞ

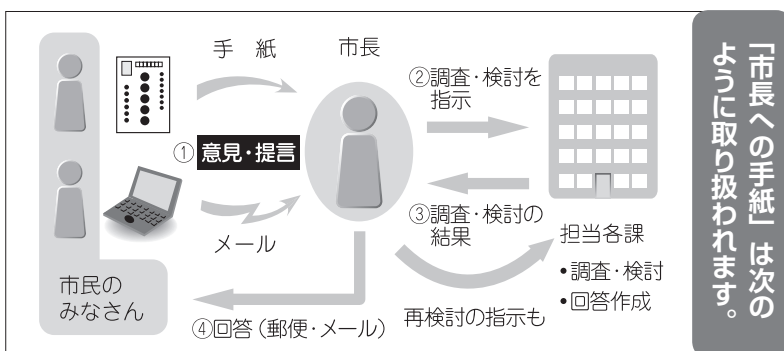
平成20年度の投稿総数は、284通。そのうち匿名のものや回答を希望しないもの、急を要するなどの判断で担当課が対応した結果、返答不要となったもの等を除く161通について回答しました。匿名でのご投稿についても、市長がすべてに目を通し、担当部署にも回付しますが、公開の対象にはなりませんのでご注意ください。

「市長への手紙」は、市民のみなさんから市長あてに、市政に関するご意見、ご提案等を手紙やメールでお寄せいただき、市としての公式な回答を作成し、市政運営やまちづくりに反映させていく制度です。いただいたご意見等は、市長が直接拝見し、担当部局と調整・検討のうえ、回答します。身近なご要望から市の事業へのご提案等、たくさんのお手紙をお待ちしています。

◎回答したものの分野別内訳

分野	回答数	主な項目
教育・文化	32	学校施設、図書館、シルクドーム、成人式など
生活環境	31	ごみ処理、交通安全、雑草、犬のふん、川的环境など
都市基盤	30	道路の維持管理、本庄早稲田駅、水道・下水道など
福祉・医療	26	乳幼児医療費、子育て支援、夜間医療体制など
まちづくり	18	住居表示、防災無線、ハザードマップ、街灯など
産業・経済	9	特産物、消費生活、つみっこなど
その他	35	職員給与、市民サービス、選挙など
計	181	(1人で複数の意見があるため回答通数とは一致しません。)

郵便 広報ほんじょう6月号に折り込んだ専用封筒に必要事項をご記入のうえ、ポストにご投函ください。(用紙は市役所や図書館・公民館等にも備えています。)



「市長への手紙」は次のように取り扱われます。



インターネット 市ホームページのトップページから「市長の部屋」にアクセスし、フォームにしたがって入力し、送信してください。ファックス 番号は、25499です。見やすいところに「市長への手紙」と書き、住所・氏名等を記入してお送りください。



平成20年度「市長への手紙」に対する回答181件のうち、本人の同意があるもの115件については、みなさんと情報を共有することを目的に、市ホームページ「市長の部屋」で公開しました。一部ですが、ここでも要約して紹介します。

団体・グループのみなさん

市長と気軽に話をしてみませんか!?

市内で活動している団体・グループのみなさんから直接ご意見をお聞きし、市政に生かすため「市民と市長の対話集会」を行っています。市の現状や課題等についても市長からお話します。日程等は調整しますので、お気軽にお問い合わせください。

※申込書は秘書広報課にあります。(市ホームページの「市長の部屋」からもダウンロードできます。)

医療費補助の拡大を

Q 乳幼児医療費補助の範囲を広げることについて、以前から同様の提案がありましたが、現在の検討状況はいかがでしょうか。具体的な回答をお願いします。以前の回答からの進み具合、実施可能時期も明記してください。

A 本市の乳幼児医療費の補助については、入通院と



もに小学校就学前となっており、埼玉県の補助基準も平成20年の1月診療分から本市の対象年齢と同様に引き上げられたところです。

市では、子育て支援体制を整えるためにいろいろな事業を実施しており、このことについても、市全体の各種施策を考慮しながら検討してきました。現在、補助年齢を小学校卒業までに拡大し、平成21年度のなるべく早い時期に実施する方向で調整しているところです。(この後、平成21年7月1日から実施することが正式に決まりました。)

川の環境を守って

Q ここ最近、児玉町の小山川の中に重機が入っていますが、何のためにやっているのですか。植物や小魚、鳥

などの生態系を壊さないでください。

A 作業実施以前には、河床に立木が茂り、流木の散乱や、堆積物がたまることにより流れに影響を与え、集中豪雨時や台風時には危険水域に達するような状況が発生していました。

そこで、河川管理者の本庄県土整備事務所に相談したところ、県で小山川河床の環境改善作業を実施していただけることになり、現在行われているものです。

実施にあたっては、関係機関と事前に協議を行い、特に生息の多い魚類については、漁業協働組合と協議し、実施時期も渇水期を選ぶなど、生態系に配慮された方法により行われています。

今後についても、人と生き物が共生でき、親しまれる水辺づくり、良好な河川環境の維持と災害の防止のための河川整備が行われるよう、関係機関との調整を図り、県にもお願いしてまいります。

「つみっこ」を給食に

Q 「つみっこ」を本庄市の名物にするためにも、学

校給食で子どもたちにも食べさせてあげてほしいと思います。家庭ではあまり作っていないのではないかと思いますので、ぜひ、メニューに入れてください。

A 市では、平成19年に昔から本庄市の家庭で食べられていた「つみっこ」を市の名物にしていこうという活動を始めました。

私は本庄上里学校給食組合の管理者でもありますので、学校給食センターに依頼し、以前から「すいとん」として献立にあつたものを、「つみっこ」に名称変更してメニューに入れていきます。

これは、「彩の国ふるさと学校給食月間」にあわせて行ったもので、この月間は、学校給食を通じて地元産食材や郷土食について理解したり、ふるさとの味を再認識し、愛着を深めようというものです。学校給食献立表をご覧になり、ご家庭でも調理してみてください。そして、郷土料理として広めていただき

たいと思いますので、よろしくお願ひします。

